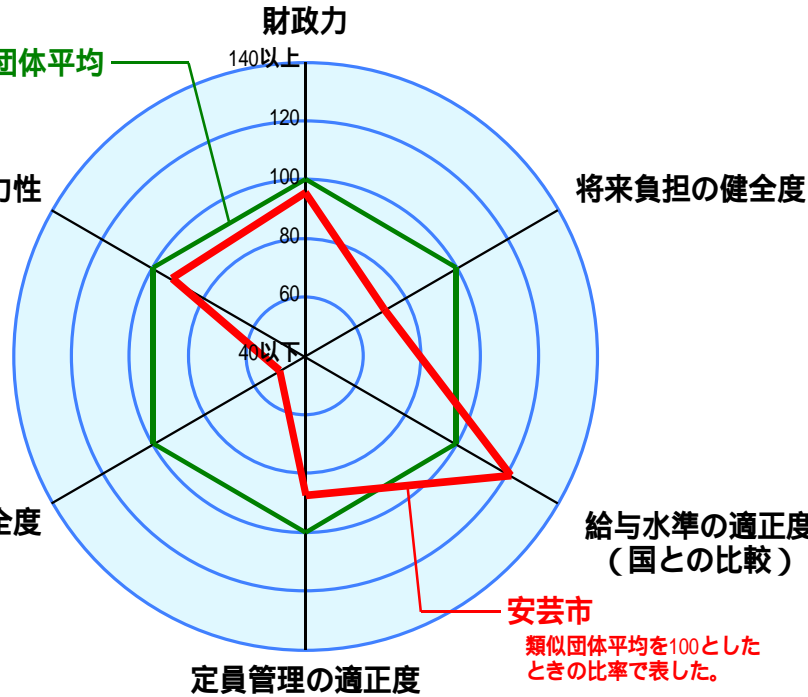


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 安芸市

人口	21,248人(H17.3.31現在)
面積	317.34 km ²
歳入総額	11,857,267千円
歳出総額	11,784,160千円
実質収支	13,810千円

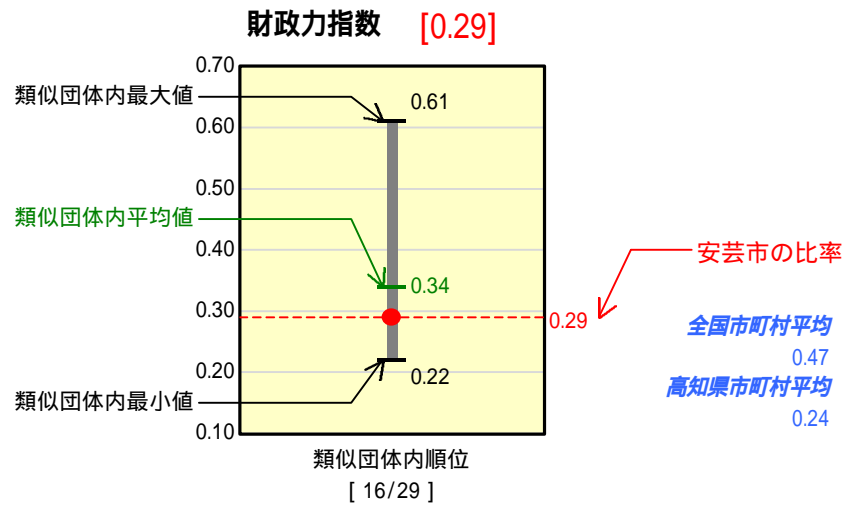


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

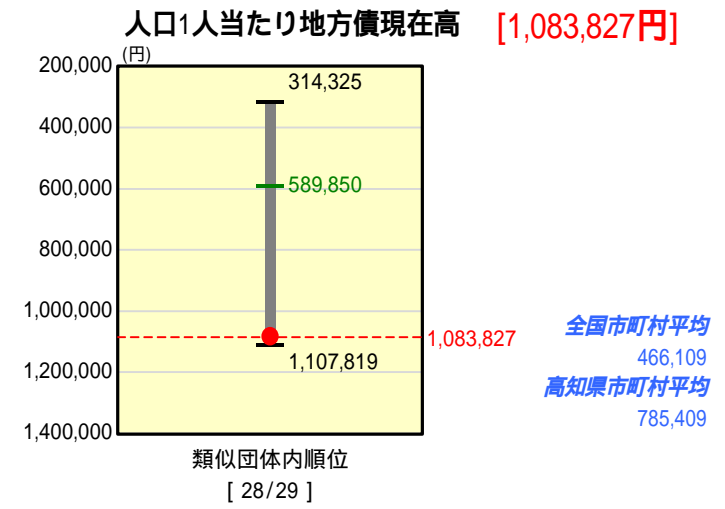
分析欄

- 【財政力指数】
 - ・人口の減少や、景気の低迷等により市税収入がH11をピークに減少に転じたことなどから類似団体平均を下回っている。平成15年度に緊急財政健全化計画（アクションプラン）を策定し、給与カットや職員数の削減による人件費の抑制、市債発行抑制による公債費削減、歳入確保等の行財政改革により財政の健全化に取り組んでいる。
- 【経常収支比率】
 - ・公債費や老人保健及び介護保険特会への繰入金が増加してきたことに対し、三位一体改革の影響等により地方交付税や臨時財政対策債が減少したことで比率が上昇し、過去最高値となった。公債費に係るものが38.4%と高く、人件費の抑制の取り組みと併せて市債発行額の抑制（対前年 29.7%）による公債費負担の軽減等義務的経費の削減に努める。
- 【起債制限比率】
 - ・H16決算により、20%の大体に達し、類似団体平均の最高値となり、H18より一般単独事業債に制限がかかることになった。H15年度より市債の発行額を大幅に抑制（対前年 29.7%）しているが、据え置き期間の関係でH20年度まで見込みとなっている。今後においては、借り換えや繰上償還を行うと共に、市債発行額の抑制を努める。
- 【人口1人当たりの地方債現在高】
 - ・バブル期以降景気対策や生活関連施設整備を連年大型事業を実施してきたことにより、類似団体と比較して約2倍となっている。H15より市債発行額の抑制により残高は減少に転じており、今後も継続して新規発行を抑制していく。
- 【ラスパイレス指数】
 - ・平成14年度から平成16年度にかけて勤奨退職者が急増してきているのに対し、新規採用者を大幅に抑制したことで職員数が51名減少（14.1%）したことや、平成16年度より、給与カット（特別職10%、一般職5%）したことにより、指数89.9%と全国平均を大きく下回っており、今後も低水準の維持に努める。
- 【人口1,000人当たりの職員数】
 - ・類似団体平均より下回っており、ここ数年新規採用凍結などで職員数の削減に努めている。

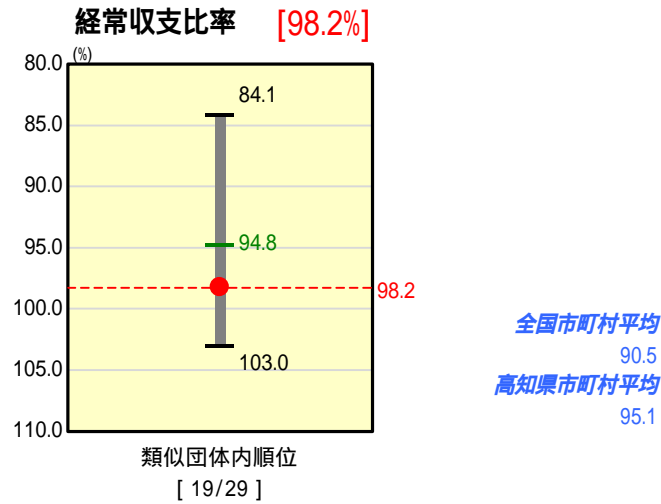
財政力



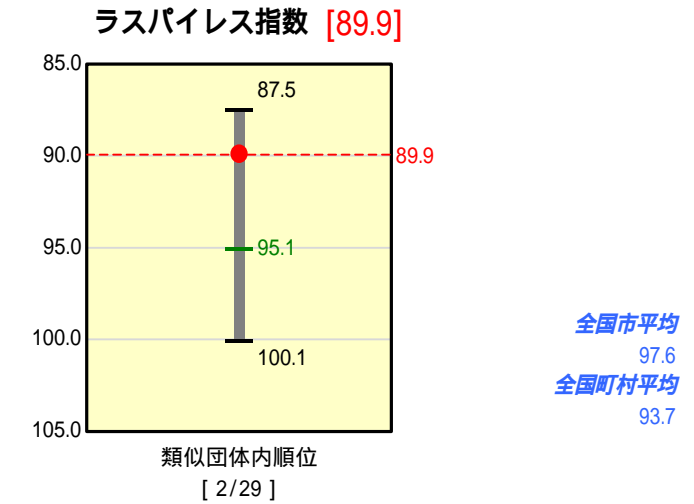
将来負担の健全度



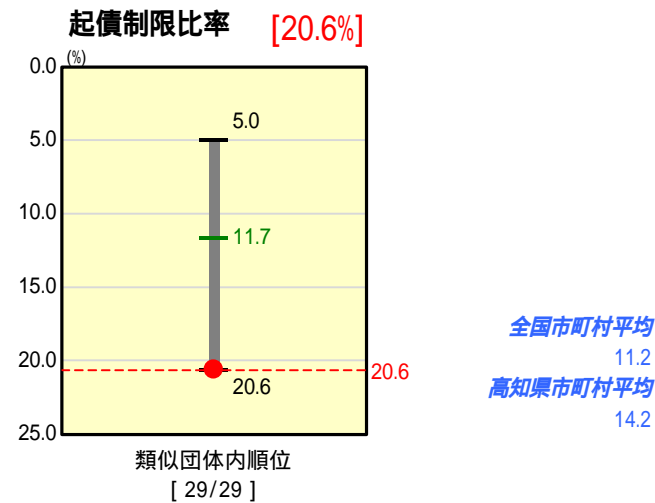
財政構造の弾力性



給与水準の適正度 (国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度

